



## 2023年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年8月14日

上場会社名 株式会社BuySell Technologies 上場取引所 東  
 コード番号 7685 URL <https://buysell-technologies.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長兼CEO (氏名) 岩田 匡平  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 小野 晃嗣 TEL 03(3359)0830  
 四半期報告書提出予定日 2023年8月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（当社ホームページに決算説明動画を掲載予定）

（百万円未満切捨て）

### 1. 2023年12月期第2四半期の連結業績（2023年1月1日～2023年6月30日）

#### （1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第2四半期	19,561	29.6	1,313	△15.7	1,291	△16.8	635	△31.6
2022年12月期第2四半期	15,092	28.9	1,558	17.2	1,552	17.7	929	34.5

（注）包括利益 2023年12月期第2四半期 633百万円（△31.7%） 2022年12月期第2四半期 927百万円（33.1%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第2四半期	43.66	43.38
2022年12月期第2四半期	65.40	64.67

#### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第2四半期	19,287	8,748	44.6
2022年12月期	17,644	8,238	46.2

（参考）自己資本 2023年12月期第2四半期 8,607百万円 2022年12月期 8,151百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 （合計）	配当性向 （連結）	純資産配当率 （連結）
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年12月期	-	0.00	-	20.00	20.00	290	12.6	4.5
2023年12月期	-	0.00	-	-	-	-	-	-
2023年12月期（予想）	-	-	-	25.00	25.00	-	13.0	-

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年12月期の連結業績予想（2023年1月1日～2023年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	44,600	32.2	4,550	23.2	4,500	22.5	2,800	23.4	191.80

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

④ 修正再表示：無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年12月期2Q	14,583,240株	2022年12月期	14,546,728株
② 期末自己株式数	2023年12月期2Q	129株	2022年12月期	91株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年12月期2Q	14,561,279株	2022年12月期2Q	14,212,342株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1.（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績等の状況の概要 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社グループは、持続可能な社会の実現のため、二次流通マーケットの活性化を通じて循環型社会の形成に貢献すべく、2022年2月に策定した「中期経営計画2024」に基づき、業務のDX化やAI技術の活用といったテクノロジーへの積極的な投資と更なるコーポレート・ガバナンス体制の強化により、当社グループの持続的な成長を追求し、企業価値の最大化を図っております。

当社グループにおいては、主として、出張訪問買取サービスである「バイセル」と、店舗買取サービスである「バイセル」「総合買取サロン タイムレス」「Reuse Shop WAKABA」を運営しております。

出張訪問買取「バイセル」においては、「出張訪問数」及び「出張訪問あたり変動利益」を主要なKPIとしております。当事業の継続的な成長のために、重要なエリアと捉える都市圏に加え、地方エリアへの拡張を図ることにより、更なる事業規模の拡大を図るとともに、当社グループデータの一元管理、販売チャネルの最適化推進、toC販売のOMO化、海外販路の開拓により、収益性の向上を図ってまいりました。

当第2四半期連結累計期間においては、本年1月～3月に発生した外部要因に伴う問い合わせ数軟調の影響から出張訪問数が121,294件（前年同期比10.2%増）に留まりました。出張訪問あたり変動利益は、当期は期初から利益率の高いtoC向け商品の在庫回転期間を戦略的に伸ばしていること、上述の問合せ数軟調をリカバーするために広告宣伝投資を追加投資したことなどから、出張訪問あたりの獲得コストが上昇し、43,987円（前年同期比5.6%減）となりました。

なお、当期は期初段階から戦略的なtoC販売強化に伴い下期に利益が偏重する計画であること、社内管理会計上の単価指標である「出張訪問あたり粗利※」は前年および社内計画を上回って推移していること、集客のプランニング再考や新イメージキャラクターによる集客効果向上により下期の問合せ数や出張訪問数をリカバーする予定であることなどから、これらの取り組みを推進することで通期計画の達成を図ってまいります。

※出張訪問買取を行うフィールドセールス事業本部でKPIを管理するための社内管理会計上の訪問あたり粗利単価。販売による粗利益の伸長を排除したKPI。

店舗買取事業においては、全国主要都市に店舗を展開する「バイセル」と全国百貨店内に店舗を展開する「総合買取サロン タイムレス」について、相互送客やマーケティング、採用・人材戦略、各種データ統合によるグループシナジーを有効活用することにより、グループ店舗展開を加速させ、出張訪問買取と差別化した買取チャネルの強化を図ってまいりました。

これにより、当第2四半期連結累計期間においては、バイセル3店舗、タイムレス5店舗を新規出店し、2023年6月末時点での買取店舗数は、バイセル13店舗、タイムレス23店舗となりました。特にタイムレスの業績は、新型コロナウイルス感染症が第5類へ移行し、百貨店への人流回帰が進んでいることから、来客数および高額商品の買取に加えて販売も順調に推移し、当社グループの業績を牽引いたしました。

そのほか、前連結会計年度にて、買取店舗「Reuse Shop WAKABA」を運営し、196店舗のフランチャイズ店、19店舗の直営店（いずれも2023年6月末時点）を擁する株式会社フォーナインを完全子会社し、さらなる買取チャネルの強化を図ってまいりました。これにより、店舗買取事業のグループ店舗数はフランチャイズを含めて、251店舗を展開しております。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高19,561百万円（前年同期比29.6%増）、営業利益1,313百万円（前年同期比15.7%減）、経常利益1,291百万円（前年同期比16.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益635百万円（前年同期比31.6%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

##### (資産)

当第2四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べて1,429百万円増加し、11,878百万円（前期末比13.7%増）となりました。これは主に、売上が好調に推移したこと、借入実行による現金及び預金の増加1,233百万円及び売掛金の増加87百万円、仕入れの増加に伴う商品の60百万円増加、その他流動資産に含まれる前払費用55百万円増加によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の固定資産は、前連結会計年度末に比べて213百万円増加し、7,409百万円（前期末比3.0%増）となりました。これは主に、のれんの償却によるのれんの減少180百万円、顧客関連資産の償却による顧客関連資産の減少137百万円がある一方、新規店舗・拠点の設立及び本社増床による有形固定資産や敷金差入保証金の増加255百万円、開発によるソフトウェア及びソフトウェア仮勘定の増加200百万円、譲渡制限付株式発行に伴う株式報酬の計上等による長期前払費用の増加43百万円によるものであります。

#### (負債)

当第2四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末に比べて304百万円増加し、5,994百万円（前期末比5.4%増）となりました。これは主に、返済による1年間償還予定の社債40百万円の減少、未払法人税等310百万円の減少やその他（流動負債）に含まれる未払消費税等の125百万円の減少の一方で、1年内返済予定の長期借入金508百万円増加、上期の賞与引当金170百万円の増加、買掛金75百万円の増加によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の固定負債は、前連結会計年度末に比べて828百万円増加し、4,544百万円（前期末比22.3%増）となりました。これは主に、償還による社債43百万円の減少、長期借入金886百万円増加によるものであります。

#### (純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べて509百万円増加し、8,748百万円（前期末比6.2%増）となりました。これは剰余金の配当による利益剰余金の減少290百万円の一方で、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金635百万円の増加、ストック・オプションの行使及び譲渡制限付株式の付与による資本金及び資本準備金113百万円の増加によるものであります。

### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前事業年度末に比べて1,238百万円増加し、8,244百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況と要因は次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、917百万円の収入（前年同期は669百万円の収入）となりました。これは主に、法人税等の支出1,033百万円による資金の減少があった一方で、税金等調整前四半期純利益1,291百万円の計上や減価償却費185百万円、のれん償却180百万円、賞与引当金の増加額170百万円等による資金の増加があったためであります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、707百万円の支出（前年同期は333百万円の支出）となりました。これは主に、本社増床・新店舗開設等に伴う有形固定資産の取得による支出311百万円及び敷金の差入による支払109百万円、自社システムの開発に伴う無形固定資産の取得による支出289百万円があった一方で、事業効率化のため一部店舗の撤退による敷金の回収による収入3百万円等があったことによるものであります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、1,029百万円の収入（前年同期は832百万円の収入）となりました。これは主に、長期借入れによる収入2,192百万円、長期借入金の返済による支出805百万円、及び配当金の支出291百万円によるものです。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年12月期の連結業績予想につきましては、2023年2月13日に公表した数値から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,999,008	8,232,207
売掛金	343,297	430,443
商品	2,794,148	2,854,830
その他	321,576	370,576
貸倒引当金	△9,320	△10,029
流動資産合計	10,448,711	11,878,028
固定資産		
有形固定資産	717,360	873,001
無形固定資産		
のれん	3,757,419	3,576,473
顧客関連資産	1,306,327	1,168,819
その他	627,055	826,876
無形固定資産合計	5,690,803	5,572,168
投資その他の資産		
その他	805,663	982,275
貸倒引当金	△17,579	△17,579
投資その他の資産合計	788,084	964,696
固定資産合計	7,196,248	7,409,867
資産合計	17,644,960	19,287,895
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	22,940	98,740
1年内償還予定の社債	146,000	106,000
1年内返済予定の長期借入金	1,571,220	2,079,402
未払法人税等	1,085,253	775,097
賞与引当金	66,556	237,369
その他	2,798,195	2,698,174
流動負債合計	5,690,165	5,994,783
固定負債		
社債	211,000	168,000
長期借入金	3,122,306	4,008,678
資産除去債務	65,885	93,461
その他	316,661	274,320
固定負債合計	3,715,853	4,544,459
負債合計	9,406,019	10,539,243
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	810,269	867,073
資本剰余金	2,464,449	2,521,253
利益剰余金	4,875,597	5,220,430
自己株式	△390	△634
株主資本合計	8,149,926	8,608,122
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,710	△180
その他の包括利益累計額合計	1,710	△180
新株予約権	87,304	140,710
純資産合計	8,238,941	8,748,652
負債純資産合計	17,644,960	19,287,895

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
売上高	15,092,641	19,561,059
売上原価	6,238,652	8,111,196
売上総利益	8,853,988	11,449,862
販売費及び一般管理費	7,295,262	10,136,091
営業利益	1,558,726	1,313,771
営業外収益		
受取利息及び配当金	22	31
その他	3,575	4,454
営業外収益合計	3,597	4,486
営業外費用		
支払利息	8,994	13,381
社債利息	173	505
支払手数料	587	5,602
その他	313	7,148
営業外費用合計	10,068	26,639
経常利益	1,552,255	1,291,618
税金等調整前四半期純利益	1,552,255	1,291,618
法人税、住民税及び事業税	622,385	734,012
法人税等調整額	416	△78,159
法人税等合計	622,801	655,853
四半期純利益	929,453	635,765
親会社株主に帰属する四半期純利益	929,453	635,765

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	929,453	635,765
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,800	△1,890
その他の包括利益合計	△1,800	△1,890
四半期包括利益	927,653	633,875
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	927,653	633,875



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,552,255	1,291,618
減価償却費	118,661	185,260
のれん償却額	90,180	180,946
顧客関連資産償却額	—	137,508
支払手数料	587	5,602
株式報酬費用	38,959	70,411
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△941	709
賞与引当金の増減額(△は減少)	23,128	170,812
受取利息及び受取配当金	△22	△31
支払利息及び社債利息	9,167	13,887
売上債権の増減額(△は増加)	△63,146	△87,145
棚卸資産の増減額(△は増加)	△470,095	△60,681
前払費用の増減額(△は増加)	13,472	△14,589
仕入債務の増減額(△は減少)	47,626	75,799
未払金の増減額(△は減少)	105,751	85,496
未払費用の増減額(△は減少)	178,600	109,385
契約負債の増減額(△は減少)	△10,172	△27,959
未払法人税等(外形標準課税)の増減額(△は減少)	△30,143	△10,188
未払消費税等の増減額(△は減少)	△201,317	△125,054
その他	△27,879	△35,375
小計	1,374,672	1,966,413
利息及び配当金の受取額	22	31
利息の支払額	△11,275	△14,895
法人税等の支払額	△694,357	△1,033,979
営業活動によるキャッシュ・フロー	669,062	917,570
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△154,498	△311,767
無形固定資産の取得による支出	△129,514	△289,908
敷金及び保証金の差入による支出	△56,116	△109,316
敷金及び保証金の回収による収入	6,221	3,803
資産除去債務の履行による支出	—	△514
投資活動によるキャッシュ・フロー	△333,908	△707,703
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	1,478,000	2,192,300
長期借入金の返済による支出	△453,870	△805,446
社債の償還による支出	△60,000	△83,000
新株予約権の行使による株式の発行による収入	65,995	9,287
新株予約権の発行による収入	—	7,260
配当金の支払額	△198,098	△291,387
財務活動によるキャッシュ・フロー	832,026	1,029,014
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,167,181	1,238,880
現金及び現金同等物の期首残高	4,796,033	7,005,237
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,963,214	8,244,118

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間において、譲渡制限付株式報酬の付与及び新株予約権の権利行使による新株発行により、資本金が56,803千円、資本準備金が56,803千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において資本金が867,073千円、資本剰余金が2,521,253千円となっております。